

porite 推奨油一覽

種類：合成油

改定2019年 8月

porite No	耐樹脂・ゴム	粘度 mm ² /s at40℃	引火点 ℃	比 重	使用例
PSL-0	○	17.8	242	0.89	各種ファン
PSL-1	○	29.3	270	0.89	各種ファン
PSL-2	○	42.9	280	0.91	各種ファン
PSL-3	○	56.4	274	0.91	各種ファン
PSL-4	◎	60.5	232	0.86	自動車用汎用モータ、ステッピングモータ、ギヤドモータ等
PSL-6	○	95.3	270	0.90	テープデッキ用キャブスタン軸受、HB型ステッピングモータ
PSL-7	△	60.0	250	0.90	自動車用各種モータ（クーリングファン、ブロワー等）、電子レンジ
PSL-10	△	39.6	250	0.92	自動車用各種モータ（クーリングファン、ブロワー等）
PSL-11	△	33.0	236	0.92	自動車用各種モータ（クーリングファン、ブロワー、シートファン等）
PSL-16	△	11.9	236	0.92	LBP用ポリゴンミラースキャナモータ、DLP用カラーホイールモータ
PSL-18	△	10.6	226	0.91	LBP用ポリゴンミラースキャナモータ、DLP用カラーホイールモータ
PSL-19	◎	10.3	188	0.81	各種光学ディスクドライブ用スピンドルモータ（CD、DVD等）
PSL-20	◎	17.8	222	0.82	各種光学ディスクドライブ用スピンドルモータ（CD、DVD等）
PSL-23	◎	99.3	252	0.86	HB型ステッピングモータ
PSL-25	◎	9.9*	163*	0.81*	小型スピンドルモータ、低トルクファン（*含油グリス：左記データは基油の値）
PSL-26	◎	18.5	228	0.82	振動モータ、スレッドモータ、小径ステッピングモータ、CD・MD用スピンドルモータ
PSL-27	◎	30.4	241	0.83	振動モータ、スレッドモータ、小径ステッピングモータ、CD・MD用スピンドルモータ
PSL-28	◎	60.9	264	0.84	振動モータ（リフロー対応）、スレッドモータ、小径ステッピングモータ、CD・MD用スピンドルモータ
PSL-29	◎	96.3	282	0.84	LBP用メインモータ、PM型ステッピングモータ
PSL-32	◎	48.0	250	0.83	振動モータ（リフロー対応）、スレッドモータ、小径ステッピングモータ、CD・MD用スピンドルモータ
PSL-33	△	60.0*	250*	0.90*	自動車用各種モータ（*含油グリス：左記データは基油の値）
PSL-34	◎	26.1	235	0.83	振動モータ、スレッドモータ、小径ステッピングモータ、CD・MD用スピンドルモータ
PSL-35	◎	103.1	272	0.85	自動車用汎用モータ、ステッピングモータ、事務機用モータ等
PSL-36	◎	68.0	280	0.84	自動車用汎用モータ、ステッピングモータ、事務機用モータ等
PSL-37	○	69.0	286	0.93	各種ファン
PSL-38	○	97.9	292	0.93	各種ファン
PSL-43	◎	10.3	160	0.81	冷蔵庫用庫内ファン等の極低温用ファン
PSL-19A	◎	14.5	194	0.82	各種光学ディスクドライブ用スピンドルモータ（DVD、BD等）
PSL-20A	◎	19.0	226	0.82	各種光学ディスクドライブ用スピンドルモータ（DVD、BD等）
PSL-100	◎*	114.0	330以上	0.99	シリコン系：オープンレンジ用ファン等の高温用ファン
PSL-101	◎*	28.0*	170*	0.93*	シリコン系：極低温～高温の広温度範囲用ファン（*含油グリス：左記データは基油の値）
PFL-200	◎	65.0	なし	1.87	フッ素オイル：自動車用高温用モータ（ETC、EGR等）

※PSL-100、PSL-101はほとんどの樹脂との相性は問題ありませんが、シリコン樹脂との使用には注意を要します。

※特性については、代表値を示しております。

種類：セミ合成油

porite No	粘度 mm ² /s at40℃	耐樹脂・ゴム	引火点 ℃	比 重
PVL-1	20.6	◎	232	0.84
PVL-2	31.3	◎	244	0.85
PVL-3	47.4	◎	262	0.86
PVL-4	69.8	◎	270	0.87

種類：鉱物油

porite No	粘度 mm ² /s at40℃	耐樹脂・ゴム	引火点 ℃	比 重
PML-A	22.3	◎	188	0.86
PML-B	31.8	◎	222	0.87
PML-C	45.4	◎	238	0.87
PML-D	66.8	◎	248	0.87
PML-K	69.9	◎	256	0.87
PML-L	100.3	◎	272	0.87
PML-M	152.0	◎	276	0.88

種類：防錆油

porite No	粘度 mm ² /s at40℃	引火点 ℃	比 重
PSR-01	3.0	79	0.82
PSR-04	4.9	98	0.83
PSR-05	4.6	96	0.84
PSR-06	3.0	80以上	0.84

種類：撥油剤

porite No	水溶性	引火点	比 重
POR-6	不溶	なし	1.4
POR-7	〃	〃	〃

※POR-7はPOR-6に蛍光剤を添加したグレードです。

1. 各油剤の紹介

○合成油

特定の性能に優れるよう設計された潤滑油で、軸受の用途に合わせて選定できます。

○セミ合成油

洗練された汎用潤滑油で、耐熱性・蒸発特性に優れ、スラッジの発生も少ないので広範囲に使用することができます。

○鉱物油

汎用潤滑油です。一般に汎用油は製品としてのライフサイクルが短く、廃番となるたびに設計変更を行う必要が生じますが、PMLシリーズには廃番のおそれはありません。

PML-A～D：一般的グレード

PML-K～M：耐摩耗性に優れ、特に高荷重の用途に適する

○防錆油

焼結機械部品に最も効果を発揮するよう開発された防錆油です。

○撥油剤

焼結含油軸受からの油漏れ防止に効果を発揮します。

2. 特性項目の詳細説明

○耐樹脂・ゴム

潤滑油の種類によっては、特定の樹脂・ゴムを劣化させるおそれがあります。○・△評価の油については、相性を確認した後に使用することを推奨致します。

一般的な樹脂・ゴムとの相性が

◎：特に優れる ○：優れる △：使用の際には確認が必要

○引火点

規定条件で加熱した油に小さな炎を近づけたとき、油がある温度以上に達していると油蒸気と空気の混合ガスに引火します。この温度が引火点です。

油の燃焼性の目安として用いられます。

○比重

ある物質の質量と、これと同じ体積の水の質量との比のことで、15℃における場合の値を表示しております。

3. 使用上の注意点

使用温度範囲 合成油 > セミ合成油 > 鉱物油

耐久性 合成油 > セミ合成油 > 鉱物油

油の価格 合成油 > セミ合成油 > 鉱物油

※合成油は品番によって特性・価格が大きく異なります。

上記は一般的な目安ですので、詳細は弊社営業・技術担当にお問合せ下さい。